

○人口問題審議会専門委員（敬称略）

<氏名>		<現職>
渡 部	周 治	総理府大臣官房審議室長
諸 澤	正 道	文部省初等中等教育局長
森 山	真 弓	労働省婦人少年局長
木 莫	暮 保 成	厚生省年金局長
青 木	尚 雄	人口問題研究所人口政策部長
濱 岡	英 彦	" 人口資質部長
岡 崎	陽 一	" 人口移動部長
村 松	稔	国立公衆衛生院衛生人口学部長
吉 沢	晋	" 建築衛生学部長

○人口問題審議会幹事（敬称略）

<氏名>		<現職>
廣 江	運 弘	経済企画庁総合計画局計画課長
高 岡	敬 展	科学技術庁計画局計画課長
名 本	公 洲	環境庁企画調整局企画調整課長
星 野	進 保	国土庁計画調整局計画課長
角 田	勝 彦	外務省大臣官房領事移住部移住課長
大 竹	宏 繁	大蔵省大臣官房調査企画課長
浦 山	山 太 郎	文部省大臣官房企画室長
山 口	新 一 郎	厚生省大臣官房企画室長
川 合	淳 二	農林省構造改善局農政部就業改善課長
若 杉	和 夫	通商産業省大臣官房総務課長
小 紹	義 朗	労働省職業安定局雇用政策課長
望 月	薰 雄	建設省計画局総括計画官
久 世	公 莊	自治省大臣官房企画室長

第29回日本人口学会大会

日本人口学会の第29回大会は、昭和52年5月30日（月）、31日（火）の両日にわたり、初めて東北の地、福島市市民福祉会館において開催された。今回の大会は、福島県立医科大学南条善治教授を委員長とする大会準備委員会の多大の努力によって、盛大な大会日程を終了した。会員参加者は約100名、本研究所からも多数の関係者が出席した。

研究発表会における一般報告、シンポジウムの題名および報告者を記すと次のとおりである。

第1日（5月30日）

○一般報告

1. 死亡秩序の近代化、とくに平均寿命の地域別格差と

その社会的文化的要因について……………山本文夫（佐賀大学）

2. 都道府県別死亡格差の変動に関する衛生統計的研究

（第2報）……………江崎広次（福岡大学）

津村幸子（"）

3. ある簡略生命表の作成に関する一考察……………南条善治（福島医科大学）

楠純一（"）

4. 日・英両国における COHORT LIFE TABLE の
比較的研究 —1913年出生 Cohort を男女に分けた
場合一(その2) 飯淵 康雄(東京医科歯科大学)
5. 人口Uターンと首都圏隣接県行政 岡田 真(駒沢大学)
6. 都市における人口の流动と移動—東北新幹線と福島
市の関係— 磐村 英一(東洋大学)
7. 人口構成の東北的特性の把握—仙台市人口構造に見
られた地域的性格 米沢 治文(東北学院大学)
8. 東北地方の人口移動の最近の変貌について 岡崎 陽一(人口問題研究所)
9. 九州地域住民の健康と人口の再生産 重松 峻夫(福岡大学)
10. 都内の地域別人口変動と出生力について 兜 真徳(東京大学)
11. 同居児法(Own Children Method)による最近の
差別出産力動向の計測 小泉 明(〃)
伊藤 達也(人口問題研究所)
山本 千鶴子(〃)
12. ライフサイクル分析における問題点 前田 正久(西武オールステート生命)
13. 昭和50年度人口動態社会経済面調査(複産)の集計
結果について 竹崎 効彦(厚生統計協会)
古谷 博子(厚生省統計情報部)
14. モデルによる都市内人口分布の解析 鈴木 啓祐(流通経済大学)
15. ポリビア熱帯低地の日本人移住地における社会経済
的変容と移住者の出生行動 柏崎 浩(東北大学)
16. 人口成長と二重経済発展に関する経済モデル 高木 尚文(成城大学)
17. 人口の年令構造の変化が消費行動に及ぼす影響につ
いて 堀 恒一(東京都商工指導所)
高木 尚文(成城大学)
18. 都市発生の数理 川上 理一(国立公衆衛生院)
- 第2日(5月31日)
- 一般報告
19. 景気循環と出生率 大淵 寛(中央大学)
20. フランスの人口政策理念の歴史 岡田 実(中央大学)
21. 人工妊娠中絶の国際的動向 村松 稔(国立公衆衛生院)
22. 西暦2000年のわが国の人口と食糧 畑井 義隆(明治学院大学)
23. 人口転換と移動転換 黒田 俊夫(日本大学)
- 特別報告
- 故渡辺定氏の業績について 菱沼 従尹(第百生命)
竹崎 効彦(厚生統計協会)
- シンポジウム
- 「日本人口高齢化の諸問題」 座長 吉田 忠雄(明治大学)
- 研究報告
1. 経済的見地 兼清 弘之(亞細亞大学)
 2. 社会的見地 青井 和夫(東京大学)
 3. 福祉的見地 三浦 文夫(社会保障研究所)
 4. 医学的見地 山本 幹夫(帝京大学)
- 討論者 寺尾 琢磨(慶應義塾大学)
村松 稔(国立公衆衛生院)